



ヒシャーム・バドル元駐日大使に対する旭日重光章の伝達

令和4年10月12日
在エジプト日本国大使館



10月11日、在エジプト日本大使公邸において、ヒシャーム・バドル元駐日大使に対する旭日重光章の伝達が行われました。右受章は、日本・エジプト間の関係強化及び友好親善に寄与したことを賞するものです。

バドル元駐日大使は、1985年から1990年に二等書記官として、2003年から2007年に駐日大使として、2度にわたり日本で勤務をされました。最初の日本在勤時から流暢な日本語を駆使して、外務省関係者のみならず、多方面の日本人関係者と交流を持たれ、日本とエジプトの関係強化に今日もなお尽力いただいております。また、その活躍は二国間の外交・政治・経済関係強化のみに限られず、日本語で日本文化、イスラーム文化に関する書籍を出版されるなど、広く中東地域・イスラーム文化に関する日本における理解の促進にも寄与されました。





岡大使より、バドル元駐日大使の叙勲に祝意を表するとともに、バドル元駐日大使が日本の中東地域やイスラームに対する理解を促進することで日本の中東外交の基盤に大きな影響を与えたことに加え、E-JUST設立時にも多大な尽力をいただいたことに感謝する旨を述べました。

受章に際しバドル元駐日大使は、在京大使館での勤務時に昭和天皇・平成天皇との面会機会に恵まれたことに加え、今回令和天皇から本章を受章できたことは大変光栄であり、まさに「一期一会」であると述べた上で、自身が関与したオペラハウス・E-JUST・大エジプト博物館における協力が日エジプト関係の3本の柱となっている旨述べ、栄えある受章に対する慶びを日本語も用いて表明しました。



伝達式には、イブラヒム・ミフリブ元首相、アムル・ムーサ元アラブ連盟事務総長・元外務大臣、ターレク・エルモッラー石油・鉱物資源大臣、ハーリド・アブデル・ガッファール保健・人口大臣、ネビーン・カッバーグ社会連帯大臣、ムハンマド・エルオラービー元外務大臣、ナビール・ファハミ元外務大臣、ムニール・ファフリー・アブデンヌール元貿易・産業・投資大臣、イブラヒーム・エルヒニーディー元暫定司法・議会大臣を含む多くの政府要人・外交団等の参加がありました。

